市民活動・虎の冬

研究テーマ 『情報を広げる方法』

団体のことや開催するイベントの情報がなかなか新しい人に届かないとお悩みではありませんか?いつもと同じ手段で情報発信をしても新しい人には届きません。情報を多く の人に届ける手段はここで紹介するようにたくさんあるので、団体の予算やスキルに合わせて新しい手段を試してみましょう!それぞれの詳しい方法はお問い合わせください。

チラシ・ポスター

目に留まる所に設置、配布

協働センター主催のイベントでも、ポスターによる新規参 加者獲得の効果は大きいです。協働センターには、設置・ 配布可能な公共施設や商業施設の一覧があります。

....... ■「らこって」に同封して発送

協働センターが発行する「らこって」に希 望団体のチラシも同封して、毎月市内 約620ヵ所に発送しています。

■各戸にポスティング

チラシを各戸にポスティングするサービスを、新 聞社や情報紙出版社が提供しています。サービ スは有料ですが、範囲も指定でき便利です。

メディア

■プレスリリースを出す

プレスリリースとは、新聞社やテレビ、ラジ オ局に情報提供をして取材の売り込み をすること。取材があれば無料で多くの 人に情報を届けるチャンス!

※詳細は「らこって」2019年10月号の虎の巻を

■市政だよりに掲載する

市政だよりの市民活動に関するページ 「みんなの広場」は申請することで情報 掲載できます。協働センターでも利用し ていますが効果的です。

※応募多数の場合掲載できないことがあります。

information

WEB-SNS

ホームページに掲載する

協働センターのホームページ「コライト」で は、団体の概要を紹介するページや、イベン トの告知ページを団体の皆さんに代わって 作成します!ホームページを持っていない 団体はぜひご活用ください。イベントのチラ シを協働センターにご持参いただくか、 FAX・メールをするだけでもOKです。

.....

SNSに投稿する

也少多一からのお知らせ

台風19号支援

ボランティアバス運行中!

台風19号により全国各地で大きな被害が発生していることを受け、 被災地で支援活動を行うNPO団体「チーム中越」が神戸市の被災地

NGO恊働センターとボランティアバスを共同運行しています。ボラン

ティアバスで被災地へ行き、被災者が生活を取り戻すための支援活 動を行うボランティア希望者を募集中です!また、協働センターでは

募金箱も設置しており、皆様からのご寄付もお待ちしております!

活動先: 栃木県、長野県、福島県

参加書: 無料

などの被災市町村

定員: 40名(先着順・最小催行人数20名)

ボランティアバス運行予定日

10:00~16:00 ボランティア活動

20:00 ながおか市民防災センター到着・解散

※行き先は被災地の状況によって決定します。

日時: 12/8 • 10 • 14 • 18 5:45 ながおか市民防災センター集合

SNS(フェイスブック、インスタグラム、ツイッ ターなど)で団体のアカウントをつくること で、継続的かつ効果的に団体の情報を受 け取りたい人に届けることが出来ます。

知る、つながる、好きになる ながおか市民活動情報誌

Racotte





佐藤庄吾さん



花のパワーを 地域のパワーに変えるフローリスト

鈴木正美さん

○アコースティックゴスペル温野菜 ○塚山みんな食堂 ○オンザロックオーケストラ

○株式会社コバックス

○『情報を広げる方法』

○海辺のこども園かいじゃり

we can do it!

私たちょ

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん! 困りごと、協力してほしいことはありませんか? 私たちが力になりますよ!

「海辺のこども園かいじゃり」は、 絵本の貸し出しができます!

子どもが自然・地域と関わりながら遊びを 通して心身ともに成長できる場づくりをしてい 🧣 ます。絵本の貸し出しのほか、薪を使った調理 場の提供やイベント時の託児、木材・薪の引 き取りが出来ます。



家庭で不要になった絵本、 ニワトリを譲ってくれる方を募集中です。

活用しょう! 協働マッテングリスト

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめ たリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる 団体がきっと見つかります!



O.SNSの使い方が分かりません。

A.協働センターではSNSのアカウントの作り方や、操作 方法、運用の仕方のアドバイスが出来ますのでご相 談ください。

O.アオーレにある大きなモニターも使えるの?

A.アオーレのナカドマビジョンは市民の方も情報発信、イ ベント告知などに利用できます。動画(最大5分)、静止画 が放映可能。詳しくはお問い合わせください。

申込方法、詳細は

長岡市社会福祉協議会

HP(右記QR)を

協働センター



〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザ アオーレ長岡 西棟3F

Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail.kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

2019.12.1 〈vol.84〉 FREE 【発行】ながおか市民協働センター

「ながおか市民協働センター」 (「@nagaoka_kyodo」 「 「@mytown0258」



要チェック!タイムリーな情報と協働センターの日常

長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。







FMながおか ながおかの





ながおかの市民協働のポータルサイト



https:// 協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。 コライト 検索 ランス・ファイト は、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。



もの4人暮らし。

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー!

活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。





ループ代表で、ご自身も認知症である藤田和子さん をお迎えしてお話を伺いました。

緊知症になっても 安心して暮らせるまちにしたい!

胸にオレンジ色で「MY HOPE TOWN」と書か れたオリジナルTシャツを着て「認知症になって も暮らしやすいまち、安心して認知症になれるま ちを目指しています」と語る佐藤庄吾さん。オレン ジ色は認知症啓発のシンボルカラーだそう。

佐藤さんは専門学校卒業後、主に認知症の 方を対象とした病院で作業療法士として働き始 めます。従事する中で、認知症や障がいに対する 偏見、それらを持つ人たちの生きづらさに気づか されました。知識を深め、社会活動の分野で先進 的な人や団体に出会う機会を重ねると、長岡市 が「誰でも暮らしやすいまち」になるにはどうすれ ばいいのかを考えるようになりました。

そんな時、認知症の人やその周辺の人がリ レーをしながらタスキをつなぎゴールを目指す 「RUN伴(ランとも)」の新潟開催や、全日本認知 症ソフトボール大会への参加などを通じて、認知

症の分野を中心にまちづくりに取り組む人たちと 出会い、それらがきっかけになり「ながおか認知 症の人と笑顔でい隊」の活動をスタートしました。

"認知症の人も希望が持てるまち長岡"を目 指して「ながおかオレンジプロジェクト」を世界ア ルツハイマー月間の9月に実施。長生橋をオレン ジ色に照らしての認知症啓発や、各種団体・企 業・店舗に対する認知症の方への理解と受け入 れのお願い、講演会などを行いました。活動の中 で、多くの人が関心を持って話を聞いてくれたり、 協力をしてくれたりしたことは、今後の取り組みへ の希望となりました。

「希望の持てるまちを、自分ごととして自分たち の手で作っていこう!」という思いで掲げた、オレ ンジ色の"MY HOPE TOWN"。「いろんな団体が 自分たちのテーマカラーで"MY HOPE TOWN"を 掲げてくれたらうれしいですね」。

第二の人生は地域の笑顔のために 花で作る人の輪

「とにかく、みんなに喜んでもらいたいんです」 そう笑顔で話す鈴木正美さんは、元造園会社 勤務の園芸教室講師。退職後も、地域の市民 サークル『花の輪クラブ』の代表として中之島コ ミュニティセンターで園芸教室を開催しているほ か、様々な場所でワークショップも行っています。

小さい頃から、家に花があることが当たり前 だったという鈴木さん。在職中は地元のスーパー で花を販売したり、会社が管理していた花壇の 手入れをしたりすることで花に関する知識を深 めていきました。そして、カルチャー教室での指導 経験を経て、会社で園芸教室を開くことを決意。 「元々チャンスがあればやってみたいと思ってい ました。人のために何かをするのは好きですし、 自分の持っている力で人を喜ばせることができ るなら、それはとても嬉しいこと」。退職後は、ボラ ンティアとして園芸教室を主宰。自分が本当に 生徒さんにしてあげたいことをしてあげられ は、ボランティアだからこそ。「第二の人生では 今まで培った知識を地域の皆さんのために活か していきたい。皆さんに楽しんでもらうことが自分 の生きがいになればと思います」。ボランティアと して活動する今でも、花の勉強を欠かしません。 プリザーブドフラワーの資格を取得し、今は『植物 雑貨クリエーター』の資格に挑戦中。「生徒さん が求めているものを提供できるように勉強を続 けています。聞いただけでは自分の身にはなら ず、生徒さんにも教えられません。自分の言葉で 説明できるようにすることが大切なんです」。

今後は、花の輪クラブのメンバーと一緒にコ ミュニティセンター裏にある空き地を整備し、 花いっぱいの憩いの場を作りたいと話す鈴木 さん。これからも園芸を通して地域に元気を届 けていきます。





●中之島コミュニティセンターでの園芸教室。「参加 する生徒さんにとって、この時間が自分へのごほうび であってほしい」と鈴木さんは言います。







アコースティックゴスペル温野菜

ゴスペルで心に栄養を届ける



クラシックギター1本の伴奏で奏でるゴスペルチーム。名前 の由来は、柔らかいギターの音色と心温まるハーモニーで心 にも栄養をお届けしたいという想いからつけました。県内各地 のイベントや介護福祉施設への慰問等で年間30回以上歌っ ています。今年は結成5年目ということもあり、初めてオリジナル ソングを作成。今後CDの作成や、ゴスペルの持つ力で音楽療 法や緩和ケアといった方面でも活動していきたいです。

フルバンドの生演奏で老いも若きも心躍る



1978年に同じ高校のOBを中心に「楽しく音楽をやろう と団体を設立しました。現在は、高齢者施設への慰問コン サートや、地域イベント等の歌の伴奏など公益的な活動も 行っています。自らも音楽を楽しみ、その音楽を聴いてくれ る多くの方からも喜んでいただけることが私たちの喜びに もなっています。これからも、様々な地域に出向いて楽しい 演奏活動をしていきたいです。

塚山みんな食堂

地域みんなの「うんめかったぁ」のために



塚山地域活性化センターで、月に一度地域の方に低額で 食事を提供しています。地域のみんなが楽しめる場所を作り たいという想いのもと、今年の5月から15人のメンバーで活動 中。来てくださる方の笑顔を思い浮かべながら、毎回メンバー で協力してメニューを考えています。食材の調達などで苦労 することもありますが、「今日も楽しかったよ」と言ってもらえる ように、これからも活動を続けていきたいです。

地域の求めるもの・困りごとに寄り添う



「お客様のための、地域のための、社会のための会社であ りつづける」を経営理念とする株式会社コバックスは、イベント の趣旨に賛同し、工場夜景やホタル観賞スポットといった越 路地域の資源を観光ルートにする「光の祭典」実行委員会の 事務局を担っています。今後も越路地域が住みよく活性化で きるよう、民間ならではのフットワークの軽さを武器に地域や 社会に役に立てる企業を目指していきます。

🥮 「これも協働!?」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿方法 投稿フォームを使う

協働センター窓口で投稿する 協働センター窓口に設置されている 「みんなの声」コーナーからも投稿できます。



先日、「人脈」ってすごく大事だと思うことがありました。出身地や卒業校、住んでいる場所 や職業、趣味などでつながる人脈ってたくさんあるけど、それを活かすも捨てるもその人 次第だと思います。「協働」には人のつながりが欠かせませんね。



国際交流に関心のある高校生たちがアオーレでハロウィンイベントを開催しました。はじめは「人が集まる か心配」と言っていましたが参加者150人超の大盛り上がり。私が「こんなイベントがあるよ」と声を掛けた 知人も参加して大満足だったそう。声を掛けるだけでも力になれてよかったなと思いました。